

授業科目名・形態	看護マネジメント論 講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者名	畠山 美嘉子	実務経験の有無	有	開講期	4 年前期

【授業の主題】

看護管理は、看護の目的を効率的、効果的、そして創造的に果たすための機能であり、経済や社会、人々のニーズが増すヘルスケアの中で、看護職が人々の尊厳を守り、専門職として責任を果たすために不可欠である。

また、看護管理は、看護管理者だけでなく全ての看護職に求められる。授業を通し、医療組織の一員である看護職として、チーム医療における調整と連携を重視し、「安全で適切な看護」を提供するための理論や技法について学び、マネジメントに必要な基礎的知識と技術を修得する。

【到達目標】

1. 看護管理は全ての看護職に不可欠かつ重要であることが理解できる。
2. 看護マネジメントは看護・ケアの価値を基盤とすることを理解できる。
3. 看護マネジメントの役割を述べるができる。
4. 看護専門職の成長は看護管理の重要な要素であると認識する。

【授業計画・内容】

- 第1回 看護サービスと看護マネジメント
- 第2回 組織活動と目標管理
- 第3回 社会情勢と医療提供体制
- 第4回 労務管理と多様な働き方
- 第5回 看護と経営管理
- 第6回 キャリア開発、リスクマネジメント
- 第7回 医療の質、セルフマネジメント
- 第8回 専門職の責務と倫理

【授業実施方法】

講義形式で行う。必要に応じ個人ワークやグループワークを取り入れる。

【授業準備】

関連する科目で学んだテキスト・資料の復習を看護管理学のテキストの予習。

【主な関連する科目】

「看護学概論」「看護倫理学」「セーフティマネジメント論」「看護コミュニケーション」「看護過程論」「感染と免疫」「災害看護」

【教科書等】

看護管理 看護の統合と実践①（メディカ出版）

【参考文献】

講義の際、適宜紹介する

【成績評価方法】

筆記試験 80%、授業態度等 20%を総合評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

看護管理職の実務経験と、認定看護管理者としての知識・実践を活かし、学生が看護のマネジメントの実践をイメージしながら、基礎知識と技術を学ぶ内容とする。

【学生へのメッセージ】

看護管理は看護の学習を統合させる学びであり、看護職の実践の責任に大きく関わります。看護職に求められる役割を踏まえ、どんなマネジメントが必要なのかを一緒に考えていきましょう。